

# なんでもつくつく



# シェルナース

NEWS24号で、「何でも付く着くシェルナース」と表紙に紹介しましたが、それを科学的に証明するために、独立行政法人 水産大学校の実験水槽を使用させてもらい、水理実験を行いましたのでご報告いたします！！

## 流れの可視化実験

海藻の胞子や付着動物の幼生の代わりに、同じくらいの大きさのアルミニウム粉末を流して、光を当てることでその動きが見えるようにして行いました。その結果、貝殻パイプの中を流れが通過し、中の貝殻にも粒子が付着することがわかりました。

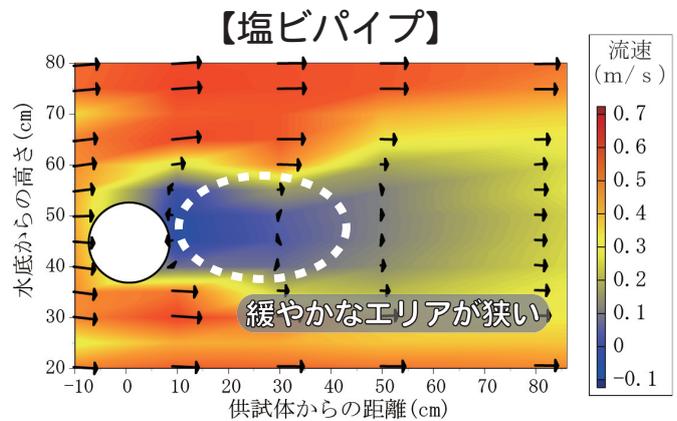
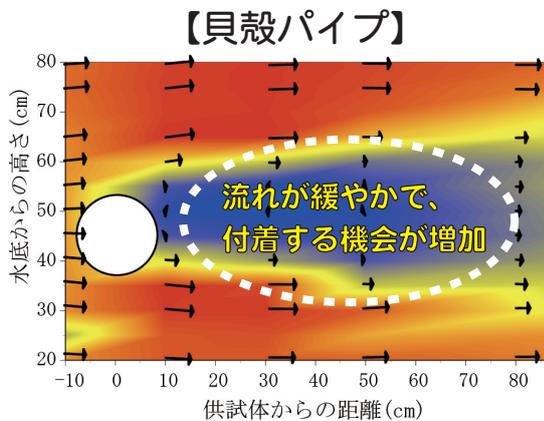


僕の背中(?)に何か付いてる!!



## 流速の測定実験

貝殻パイプと塩ビパイプの周りの流速を測定して比べてみました。その結果、貝殻パイプの方がより後ろの方まで流れの緩やかなエリアを形成することがわかりました。



## 結論

貝殻パイプには

水中を浮遊する胞子や幼生が付着しやすい！！

出典：貝殻基質周辺の流れに関する研究報告（穴口他・2013）